

平成21年12月

各団体・機関の責任者 各位

社団法人 農業開発研修センター  
会長理事 藤 谷 築 次  
[公 印 省 略]

## 平成21年度（通算第34回）地域農業振興に関する研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

農業開発研修センターでは、地域に即した農業者・指導者の育成をモットーに、農業、農村情勢を的確に捉えた各種の研究会（研修会）を開催し、全国各地から多数の真摯で積極的な参加を得て参りました。

この度、「平成21年度（第34回）地域農業振興に関する研究会」を別紙の通り企画・開催いたします。

今年度は「開催趣旨」にも示してある通り、「新政権下の農政の展開方向」と「持続的農村社会の確立のあり方」の解明に狙いをおき、研究会の開催内容を企画いたしました。

つきましては、業務ご多忙の折とは存じますが、貴団体・機関の関係者の多数のご参加につき格別のご配慮を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

平成21年度(通算第34回)

# 地域農業振興に関する研究会開催要領

主催: 社団法人 農業開発研修センター

## 開催趣旨:

8月の総選挙の結果、鳩山政権が誕生しました。現在、様々な分野での政策見直しが図られています。農政においては、民主党がマニフェストに掲げた戸別所得補償制度は具体的検討が進められていますが、農政の全体方向は必ずしも明らかになっていません。

また、現在の地方・農村がおかれている環境はどうでしょうか。地方経済は依然として低迷しており、また、いわゆる「限界集落」問題に象徴されるように、過疎化の動きもますます進むばかりで、地域の活力が低下しつつあると言わざるを得ない状況にあります。

このような状況の下、今回で第34回を迎える本研究会は、農業関係者の現在の最大の関心事である2つのテーマを取り上げます。1つは、「新政権下の農政の展開方向」であり、もう1つは、「持続的農村社会の確立のあり方」についてです。

まず第1のテーマである「新政権下の農政の展開方向」については、「食料・農業・農村基本計画」の見直し方向をめぐって、審議に関わっておられる研究者からご報告していただき(報告)、また、ジャーナリストの視点からは、現時点での民主党農政を評価し、課題提起していただきます(報告)。

第2のテーマである「持続的農村社会の確立のあり方」については、2日目の報告とシンポジウムおよび3日目の報告で取り上げます。報告は、シンポジウムの基調報告的位置づけで、研究者から農村活性化のために取り組むべき基本方向についてご報告していただきます。シンポジウムでは、テーマを「持続的農村社会の確立を目指して」とし、先進的な取り組みを進めておられる3つの事例から報告をいただき、持続的農村社会の確立のあり方について、徹底討論いたします。また、報告では、地域経済活性化の方策として注目されている農商工連携について、その意義と取り組みのポイントを、マーケティングの専門家からご報告していただきます。

最後に、報告では、本研究会の企画メンバーである研究者から研究会の総括報告を行い、全体を締め括ります。

本研究会は、地域農業・農村の活性化に責任ある立場に立つ自治体・JA等の関係者の皆様に示唆に富むよう、5つの報告とシンポジウムに工夫を凝らし、実践で成果をあげている現場の指導者や地域の実態に詳しい研究者・専門家など、第一線でご活躍中の適任者の方々を講師として招聘しています。それぞれのお立場の皆様方に必ずお役に立てるものと確信いたしております。また、本研究会の開催期間中に懇談会を予定しておりますので、講師との交流のみならず、参加者相互の情報交換や交流の場としてもご活用いただきたいと考えております。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。是非、ふるってご参加ください。

**期 間:** 平成22年2月15日(月)~17日(水)

**会 場:** 京都JA会館

京都市南区東九条西山王町1番地(農業開発研修センター直通 075-681-4298)  
JR京都駅八条東口より徒歩約5分(別図参照)

**対 象:** 単位JA、都道府県中央会・連合会・県本部、全国連の役職員

地方自治体(市町村、都道府県)の農林行政担当者

地方自治体(市町村、都道府県)の議会議員

農業委員会・農業会議等の役職員

地域水田農業推進協議会、地域担い手育成総合支援協議会、農地・水・環境保全向上対策地域協議会等の各種地域協議会(都道府県段階を含む)の事務局および構成団体・機関の役職員

その他、農業・農村問題に関心のある団体・機関の役職員および農業者等

**定 員:** 100名

**参加会費:** 60,000円(消費税等を含む)

但し、農業開発研修センター会員所属者及び平成20年度以前からの会友(個人会員)は、43,000円とします。

懇談会参加の場合は、参加会費の他に5,000円(消費税等を含む)を申し受けます。(開催日:2月16日(火) 17:30~19:00)

## 第1日目 2月15日(月)

13:30～13:50 **開会あいさつ・オリエンテーション**  
社団法人農業開発研修センター 副会長理事 小池 恒男

13:50～15:20 **報告 新政権下で「食料・農業・農村基本計画」見直しはこうなる**  
(うち質疑応答約10分)  
東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 鈴木 宣弘 氏  
(食料・農業・農村政策審議会 企画部会長)  
「基本計画」見直しのポイントと日本農業が進むべき方向。  
WTO体制下で、わが国農政はどう対応すべきか。  
民主党政権で農政はこう変わる。

15:20～15:40 休 憩

15:40～17:00 **報告 民主党農政の評価と課題**  
(うち質疑応答約10分)  
日本農業新聞 農政経済部 国会担当キャップ 藤井 庸義 氏  
ジャーナリストとして、民主党農政をどう評価するか。  
民主党農政のどこが問題か。どうすれば地域の期待・要望に応えられるのか。  
農業・農村活性化に向け、民主党農政に何を期待するか。

## 第2日目 2月16日(火)

9:00～10:20 **報告 農村再生・活性化の視点と取組方向**  
(うち質疑応答約10分)  
徳島大学 総合科学部 教授 中嶋 信 氏  
農村が抱える基本問題は何か。  
農村再生・活性化にとって自治体とJAの役割をどう考えるか。  
参加型地域づくりに向けた新しい公共をどう創造するか。

10:20～10:40 休 憩

### シンポジウム『持続的農村社会の確立を目指して』

10:40～11:00 **座長解題 京都大学名誉教授 稲本 志良 氏**  
シンポジウムテーマの解題と明らかにしたい諸論点。  
3つの事例報告で注目してほしいこと。  
シンポジウム参加者に期待すること。

11:00～12:00 **事例報告 コミュニティの再構築に向けた集落型農業法人の取り組み**  
京都府南丹市(旧・美山町) 有限会社タナセン  
社長 柿迫 義昭 氏

JA支所廃止を契機に、地域住民自らで暮らしと営農を支える仕組みを創出。  
地域のコンビニ機能をもつ購買事業を軸に、転作を中心とした農作業受託、さらに、事務所に隣接する介護予防施設の管理業務をも担う法人を設立。  
地域をめぐる基本問題と今後の地域活性化に向けての課題は何か。

12:00～13:00 昼 食

---

13:00～14:00 **事例報告 直売所のネットワーク化と巡回集荷による高齢農家支援**

島根県 雲南農業協同組合 営農マーケティング事業部  
産直事業課 課長 須山 一 氏

1市2町を管内とする組合員数26,018人（うち正組合員12,342人）、販売品販売高66億円の中  
山間地域に位置する総合JA。  
直売所の活性化のため、出荷の困難な高齢農家のために運送会社を活用した巡回集荷、共通P  
OSレジ導入による多様な直売所のネットワーク化の実践。  
松江市や兵庫県尼崎市の量販店でのインショップによる「地産“都商”」の展開。

---

14:00～14:10 休 憩

---

14:10～15:10 **事例報告 上勝町が目指す農村社会の姿**

徳島県 上勝町 町長 笠松 和市 氏

JAと連携した「葉っぱビジネス」をはじめとする多様な地域社会活性化への取り組み。  
「1Q（いっきゅう）運動会」による、町内5地域の地域住民自らが問題意識と智恵を出し合  
う地域づくり競争の仕組みづくり。  
上勝町が目指す「持続可能な地域社会づくり」の具体像は。

---

15:10～15:30 休 憩

---

15:30～17:00 **討 論**

(コーディネーター) 前 掲 稲本 志良 氏  
(コメンテーター) 徳島大学 総合科学部 教授 中嶋 信 氏  
京都府 南丹広域振興局 農林商工部 部長 安本 洋一 氏

---

17:00～17:30 休 憩・移 動

---

17:30～19:00 **懇 談 会**

講師及び研究会参加者の意見交換  
参加者相互の交流（名刺交換）

---

**第3日目 2月17日（水）**

9:00～10:30 **報告 農商工連携の意義と課題 - 地域内循環と地域活性化 -**  
(うち質疑応答約10分)

マーケティングプロデューサー 平岡 豊 氏

農商工連携で何をを目指すのか。農商工連携の意義と基本理念。  
農商工連携のための望ましい連携の形づくり。  
農商工連携を成功に導く取り組みのポイントは～自治体とJAの役割～。

---

10:30～10:50 休 憩

---

10:50～12:00 **報告（総括報告）**

(うち質疑応答約10分)

滋賀県立大学名誉教授 小池 恒男 氏

民主党農政が目指しているものは何か。  
農業・農村をめぐる、いま現場で起きていること。  
持続的な農業・農村社会の構築を目指して。

---

12:00～12:10 **閉会あいさつ** 社団法人農業開発研修センター 会長理事 藤谷 築次

---

注) 講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

## 懇談会：

講師及び参加者の意見交換の場として設営しております。参加は自由としておりますが、参加者の交流の場として、積極的な参加を期待しております。

参加をご希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、参加会費とともに懇談会費をお振り込みください（原則として申込後の変更は認めておりません）。

と き：第2日目（2月16日：17：30～19：00）

会 場：ホテル京阪京都（別図参照）

懇談会費：5,000円（消費税等を含む）

## 宿舎の案内：

本研究会へご参加の方に宿舎の案内をしております。

エルイン京都（別図参照） 京都市南区東九条東山王町13 075-672-1100

宿泊料は、シングル6,200円（税込み・サービス料なし/1泊）です。

申込順とし、満室になり次第締め切ります（満室の際はご連絡します）。

ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入ください。

変更等は下記事務局にご一報ください（所定のキャンセル料が必要な場合があります）。

宿泊料はチェックイン時にエルイン京都にお支払いください。

## 申込方法：

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリで送信ください。また、参加会費を下記の口座（口座名：社団法人農業開発研修センター）に送金してください。

J A 京都信連 本 店	当座預金	口座番号：6373291
京 都 銀 行 京都駅前支店	普通預金	口座番号：3164073

締め切り2月9日（火）。定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。会員加入の有無が不明の場合及び参加会費の前納が不可能の場合等はこちらへご連絡ください。

開催要領及び申込書は、当センターのホームページ（<http://www.agridtc.or.jp>）からダウンロードすることもできます。

## 受理通知：

参加申込書を送信された方に受理通知書を送信します。

## そ の 他：

全期間を通じてのご参加をお願いします。ただし、参加者が交替してご参加されることは可能です。その場合は、事前にご連絡ください。また、平成20年度以前に会友（個人会員）に加入されている方が部分参加される場合は参加会費の割引があります。

参加申込書を送信後キャンセルされる場合、参加会費は次の通り精算します。

・2月9日まで……手数料（10,000円）を差し引き、残額をお返します。

・2月10日以降……参加会費はお返しできません。

「生涯能力開発給付金制度」は廃止されましたが、都道府県庁によっては独自に助成制度を設けられているところがございます。詳細は各都道府県庁の職業能力開発主管課へご照会ください。

その他、ご不明の点等ございましたら、事務局へご連絡ください。

# 問い合わせ（申し込み）先：

社団法人 農業開発研修センター 地域農業振興に関する研究会係

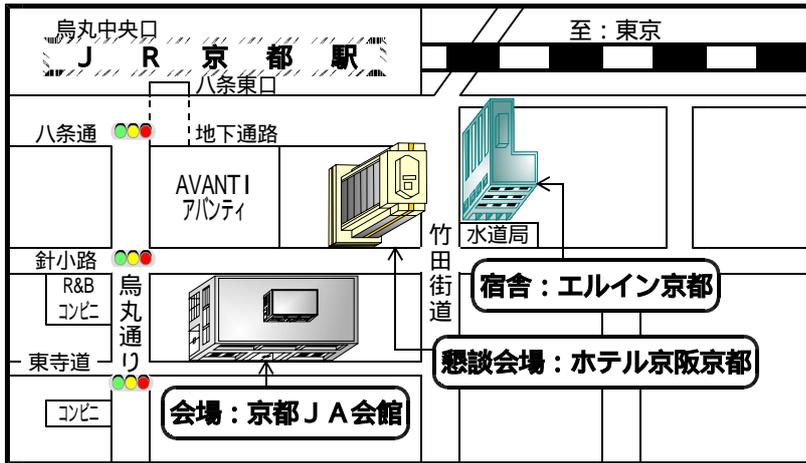
〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1番地（京都JA会館）

TEL：075-681-4297・4298

FAX：075-662-0078

URL：<http://www.agridtc.or.jp>

## 研究会場・宿舎付近略図：



### 所要時間

- ・ JR京都駅（八条東口）  
会場（京都JA会館）= 徒歩約5分
- ・ JR京都駅（八条東口）  
宿舎（エルイン京都）= 徒歩約3分
- ・ 会場（京都JA会館）  
宿舎（エルイン京都）= 徒歩約3分

農業開発研修センター 行き  
 <FAX: 075-662-0078>

平成21年度(通算第34回)地域農業振興に関する研究会参加申込書

〒 TEL FAX

ご住所:

貴機関名:

ご記入者名(部課名) (お名前)

部 課・役 職 名	ふ り が な 参 加 者 氏 名	懇 談 会 出 欠	宿泊斡旋希望(希望日に)				
			14日 (日)	15日 (月)	16日 (火)	17日 (水)	喫煙 禁煙 の 希 望
			前日	開講		閉講	
		出・欠					喫煙 ・ 禁煙
		出・欠					喫煙 ・ 禁煙
		出・欠					喫煙 ・ 禁煙
		出・欠					喫煙 ・ 禁煙
		出・欠					喫煙 ・ 禁煙
<記入例> 農 業 振 興 課 長	けんしゅうたろう 研 修 太 郎	出・欠					喫煙 ・ 禁煙

<送金状況>

- 振込(予定)先 …… イ . 京都信連 □ . 京都銀行 (該当する記号に 印をつけてください)
- 振込(予定)日 …… 月 日 (宿泊料は振り込まないでください)

注1) 必要事項を丁寧に記入のうえ、ファクシミリで送信してください。  
 研究会参加及び宿泊は、申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかつた方にはご連絡いたします。

2) 懇談会の出欠については、上記の(出・欠)のいずれかに 印を付してください。  
 ご出席の場合、懇談会費5,000円は、参加会費とともにお振り込みください。

ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会のご案内をはじめとする当センターの関連事業等のために使用するものであり、それ以外の目的で使用することはありません。